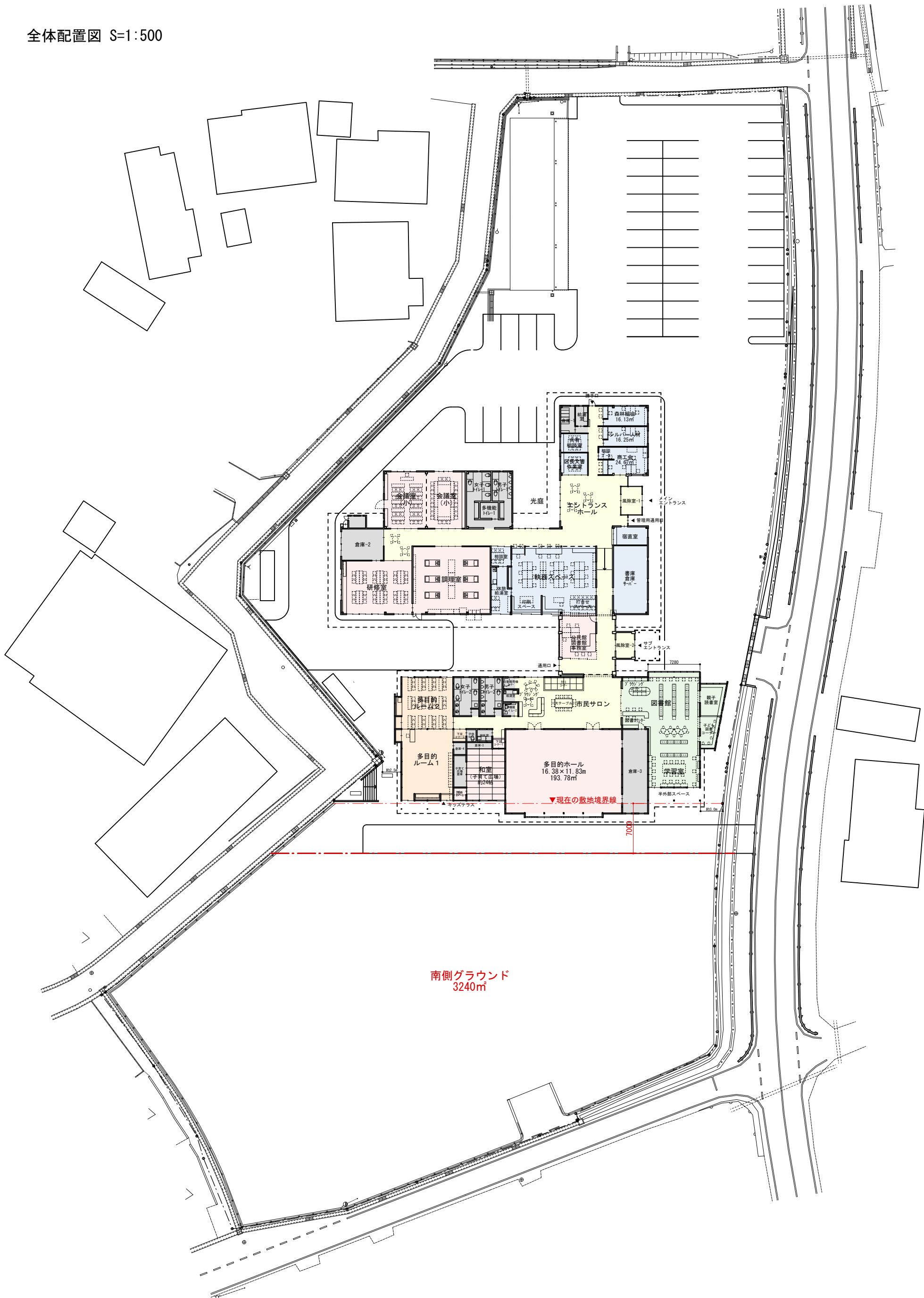


美東保健福祉センター一周辺



全体配置図 S=1:500



美祢市保育園再編基本方針

令和4年7月

美祢市市民福祉部子育て支援課

目次

I	保育園再編基本方針策定にあたって	1
II	児童を取り巻く現状	1
1	人口の減少	1
2	出生数の推移	2
III	保育園の状況	2
1	入園児童数の推移	2
2	保育サービス内容の状況	3
IV	保育園が抱える課題	5
1	入園児童数の定員割れの状況と将来の入園児童数	5
2	保育サービスの不均衡	5
3	保育園の運営経費に係る市の負担額の増加	5
4	園舎の老朽化	5
V	公立保育園の再編について	7
1	再編に係る基本的な考え方	7
2	再編を検討する公立保育園	8
VI	公立保育園のあり方について	10
VII	今後のスケジュール	10
○	美祢市保育園位置図	11

I 保育園再編基本方針策定にあたって

近年、社会・経済状況の変化による共働き家庭の増加、働き方の多様化等により、保育園に求められるサービスは多様化しており、保育環境の充実は喫緊の重要課題となっています。また、本市においては人口減少傾向が顕著であり、特に年少人口の減少が進行しており、少子化対策への取組が急務となっています。

このような中で、少子化の進行とともにこの重要課題に対応していくためには、限られた財源と人材を効率的に活用していくことが不可欠です。そのためには、公立保育園を保育効果や安全管理の面からも適正規模の施設に再編する必要があります。

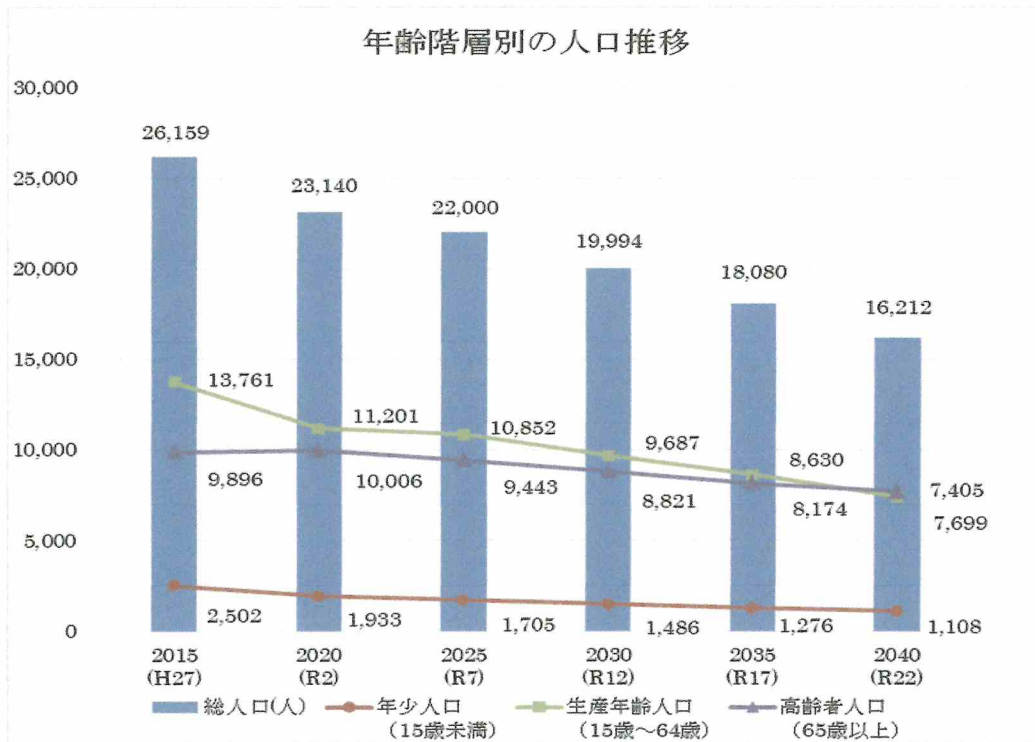
また、単に効率化だけでなく、将来を担う子どもたちの健やかな育ちに重点を置き、子育て世代のニーズに合った教育・保育環境づくりに取り組み、保護者が安心して子育てし、就労できる環境を整えることで、少子化対策としても重要な役割を果たすものと考えます。

これらのことから、子育てしやすい環境づくりの一つとして、老朽化した施設の再配置と施設整備について検討し、保育園のあり方を検討するため、基本方針を策定することとしました。

II 児童を取り巻く現状

1 人口の減少

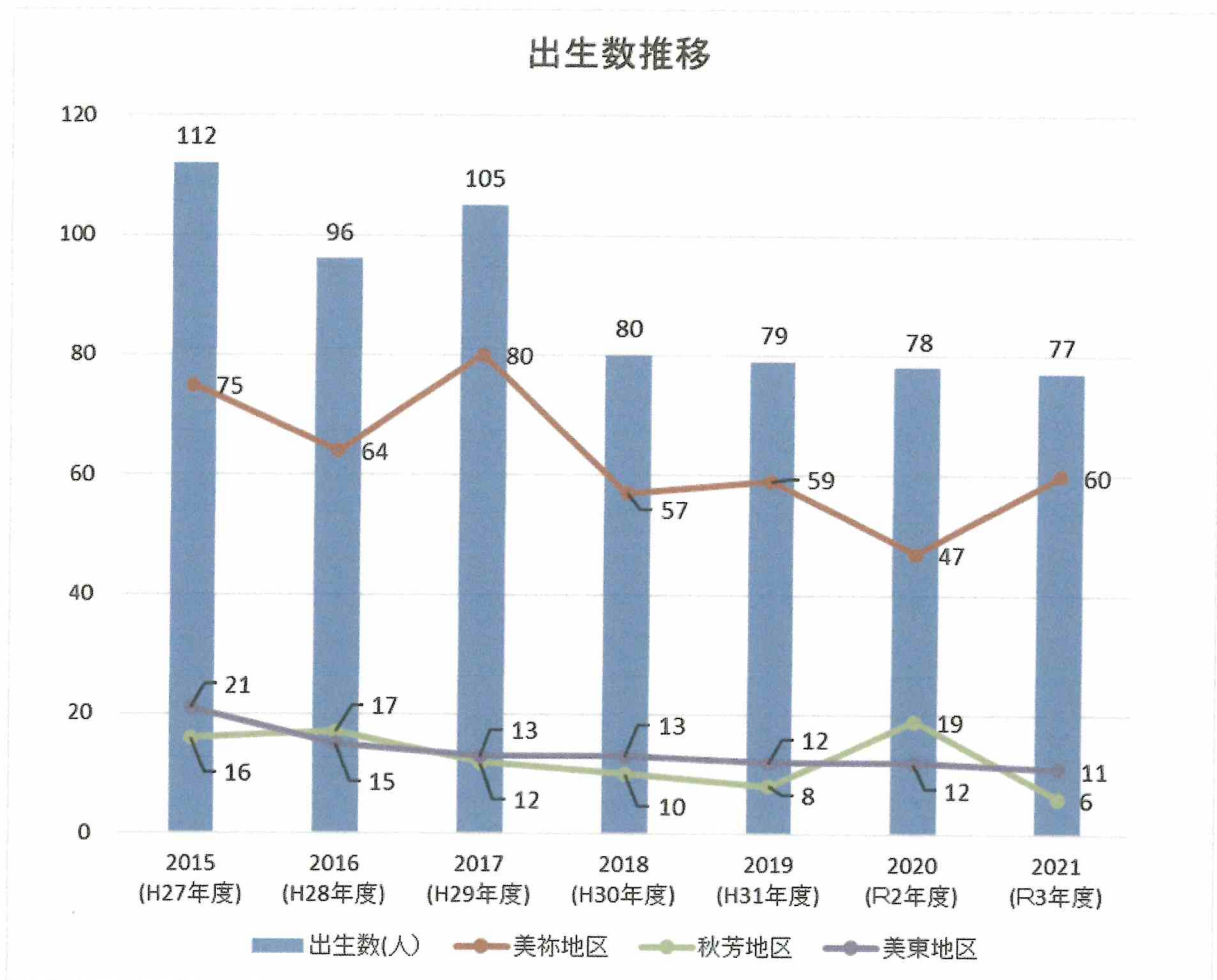
本市においては、年々人口が減少している一方で、総人口に占める高齢者の割合は増加しており、今後も人口の減少傾向が続くことが予想されます。



(参考資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」

2 出生数の推移

本市における出生数については、年々減少している状況です。



資料：市民課 住民係

Ⅲ 保育園の状況

現在、市内には、公立保育園7園（うちへき地1園で指定管理者制度導入）、私立保育園4園があり、就学前児童の保育を担っています。

また、幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援を総合的に推進することを目的として平成27年度から施行された「子ども・子育て支援新制度」により、市内2箇所の幼稚園が幼稚園型認定こども園へと移行しており、児童の教育・保育を一体的に行うことで、保護者のニーズに合わせた保育の選択が可能となっています。

1 入園児童数の推移

出生数は減少傾向にありますが、共働き家庭の増加、保護者の雇用・勤務形態の多様化等により、低年齢児の途中入園が増えている状況です。しかし、公立保育園（へき地除く）では、入所率が50%を下回っている園が、6園中4園あります。

(表1)入園児童数の推移

各年4月1日現在 ※右側()は10月1日現在(人)

区分		定員 (R3.4.1現在)	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
公立	伊佐保育園	60	9	11	15	14	17 (18)
	厚保保育園	60	14	11	10	13	16 (16)
	大田保育園	60	57	48	46	42	39 (41)
	真長田保育園	45	30	27	24	20	19 (20)
	秋吉保育園	90	44	43	34	25	23 (24)
	秋芳桂花保育園	45	34	34	38	34	26 (26)
	豊田前保育園(へき地)	35	15	9	10	11	12 (10)
	計	395	203	183	177	159	152 (155)
私立	吉則保育園	80	90	94	90	81	83 (91)
	南大嶺保育園	40	42	38	44	43	37 (42)
	麦川保育園	30	22	23	21	23	20 (22)
	光輪保育園	20	29	23	14	16	10 (10)
	計	170	183	178	169	163	150 (165)
私立	美祢幼稚園 (認定こども園)	65	78	64	64	58	64 (70)
	伊佐中央幼稚園 (認定こども園)	115	116	103	107	98	90 (94)
	計	180	194	167	171	156	154 (164)
合 計		745	580	528	517	478	456 (484)

2 保育サービス内容の状況

現在、美祢市の保育園及び認定こども園では、延長保育、一時預かり等の特別保育を実施しています。

延長保育については、私立保育園及び認定こども園6園すべてで、公立では秋芳地区の2園、美東地区の1園が延長保育を実施しています。

一時預かり保育は、私立保育園及び認定こども園6園と公立では秋芳地区の1園、美東地区の1園で実施しています。

入所受入れ年齢は、私立保育園では、生後2ヶ月、もしくは3ヶ月からの受け入れですが、公立では6ヶ月からの受け入れが4園、1歳からが3園となっています。

延長保育、受入れ年齢のサービスについては、私立保育園等では公立保育園に比べ、より保護者のニーズに対応した取り組みがなされています。

また、休日保育については、現在市内の保育園では実施していませんが、今後実施体制について検討していきます。

(表2) 保育の実施状況

区分	施設名	年齢	開所時間	延長保育	一時預かり	子育て支援 拠点
公立	伊佐保育園	0歳(6ヶ月～)	7:30～18:30	—	—	
	厚保保育園	1歳児	7:30～18:00	—	—	
	大田保育園	0歳(6ヶ月～)	7:30～19:00	○	○	
	真長田保育園	1歳児	7:30～18:30	—	—	
	秋吉保育園	0歳(6ヶ月～)	7:30～19:00	○	○	
	秋芳桂花保育園	0歳(6ヶ月～)	7:30～19:00	○	—	
	豊田前保育園(ハギ地)	満1歳	7:00～18:00	—	—	
私立	吉則保育園	0歳(3ヶ月～)	7:30～19:30	○	○	○
	南大嶺保育園	0歳(2ヶ月～)	7:00～18:30	○	○	
	麦川保育園	0歳(2ヶ月～)	7:00～19:00	○	○	
	光輪保育園	0歳(3ヶ月～)	7:00～19:00	○	○	
	美祢幼稚園 (認定こども園)	0歳(6ヶ月～)	7:30～18:30	○	○	
	伊佐中央幼稚園 (認定こども園)	0歳(6ヶ月～)	7:30～18:30	○	○	

IV 保育園が抱える課題

1 入園児童数の定員割れの状況と将来の入園児童数（表1）

令和3年4月1日時点の公立保育園入園児童数は定員395人に対し152人で、毎年定員割れの状況が続いています。また、これまで現状に応じた定員の見直しが行われておらず、保育士も定員数に見合った配置が行われず、年度途中の低年齢児（特に0歳児）の入所に対応できない状況になることがあります。

一方、私立保育園等では、充足率は公立保育園より高くなっていますが、私立保育園等すべてが美祢地区にあることにより、年度当初は、定員割れとなる園もあります。

将来の入園児童数についても、年少人口は減少し続けるため、大幅な増加は見込めない状況にあり、保育園間の競争や定員割れにより、経営を圧迫するおそれがあります。

また、子どもたちの集団規模が小規模となり、子ども同士の触れ合いの減少により、自主性や協調性を養う機会への影響も心配されます。

2 保育サービスの不均衡（表2）

地域によって受入れ年齢、開所時間、保育サービス等にバラつきがあり、サービスの均衡がとれていない状況です。また、公立保育園においてはほとんどが定員を満たしていないため効率的な保育士配置ができず、十分な保育サービスが供給できている状況とは言えません。サービスの均衡を図るだけでなく、地域のニーズに対応した保育環境を作ることが課題となっています。

3 保育園の運営経費に係る市の負担額の増加

公立保育園と私立保育園は、その内容は国の基準に基づいたもので、基本的に同様に運営されています。しかし公立保育園の運営費や施設整備費に係る国の補助については、平成16年度に一般財源化されており、国からの補助金がないことによりコストの抑制を余儀なくされていますが、今後、職員の経験年数が長くなれば人件費がかさむことが予想されます。一方、私立保育園の運営は、国が決めた「保育単価」に基づく国・県・市からの運営費と補助金で賄われています。

4 園舎の老朽化（表3）

公立保育園7園中4園は昭和48年から56年の間に建設され、老朽化が著しくこれまで補修等を行いながら対処してきましたが、建替も視野に入れた根本的な老朽化対策が必要となっています。私立保育園については1園、認定こども園2園で改築がすすんでおり、残り3園は築後約30年を経過しています。

(表3) 保育園及び認定こども園建築状況

令和4年4月1日現在

区分	施設名	定員	園児数	建築年月	経過年数	構造
公立	伊佐保育園	60	17	昭和48年3月	49年	鉄筋コンクリート造
	厚保保育園	60	16	昭和56年2月	41年	鉄筋コンクリート造
	大田保育園	60	39	昭和51年2月	46年	コンクリートブロック造
	真長田保育園	45	19	昭和52年11月	44年	コンクリートブロック造
	秋吉保育園	90	23	平成8年3月	26年	鉄筋コンクリート造
	秋芳桂花保育園	45	26	平成30年3月	4年	鉄筋コンクリート造
	豊田前保育園(ハキ地)	35	12	平成23年4月	11年	鉄筋コンクリート造
私立	吉則保育園	80	83	平成25年10月(改築)	8年	鉄筋コンクリート造
	南大嶺保育園	40	37	昭和54年3月	43年	鉄筋コンクリート造
	麦川保育園	30	20	昭和60年4月(改築)	37年	鉄筋コンクリート造
	光輪保育園	20	10	昭和58年4月	39年	鉄筋コンクリート造
	美祢幼稚園 (認定こども園)	65	64	令和2年3月(改築)	2年	木造
	伊佐中央幼稚園 (認定こども園)	115	90	令和3年3月(改築)	1年	木造

V 公立保育園の再編について

1 再編に係る基本的な考え方

現状や課題から、将来を担うこどもたちにとって望ましい就学前の教育・保育環境を整備することに重点をおき、施設の老朽化や立地状況を考慮した上で、保護者や地域のニーズに対応できるよう、以下を基本として再編を進めていきます。

○地域の子育て支援・地域コミュニティの役割

保育所の存在意義は、単に子どもの保育だけでなく、地域の子どもや家庭に対しての支援の役割も担っています。人口減少地域においては、入所率の低下にとらわれず、その地域の子育て世代のニーズや地域のニーズに合わせた保育形態を検討し、従来の保育サービスに加え、地域に様々なサービスを提供する多機能化を検討していく必要があります。

○子育てしやすい環境づくり

人口減少は今後も続くと見込まれ、保育園入所児童数も減少傾向にあるものの、女性の就業率の増加、働き方の多様化などから、保育ニーズは高まっていくと考えられます。再編を進めることで確保できる人材を活用し、乳児保育や一時預かり、延長保育、休日保育など、「身近な場所で安心して子育てと就労ができる環境」を整備することで、子育て世代の定住につなげ、少子化対策としての役割を果たします。

○私立と公立のあり方

私立施設が充実するエリアについては私立により、私立の参入が困難と考えられるエリアについては公立により、その役割や必要性を明確にして、連携をとるなど関係機関が一体となって子育て環境を整備していきます。

なお、再編にあたっては、対象保育園保護者や地域関係者との協議を行い、地域にとって必要な保育園のあり方を検討しながら進めていきます。

2 再編を検討する公立保育園

基本的な考え方に基づき、以下の保育園について再編を検討します。

保育園名	計 画
伊佐保育園	段階的に受入を停止して閉園
大田保育園	園舎建替え（延長保育の時間延長など、更なる保育サービスの検討）
真長田保育園	保護者・有識者・地域の方と協議を行い、方針決定

美祢地区にある伊佐保育園については、同じ伊佐地域に認定こども園があること、比較的近い場所に他の私立保育園もあり受入環境が整備されていることから、段階的に受入を停止し、閉園を検討します。

美東地区にある大田保育園と真長田保育園については、人口推計からも入園児童数の大幅な増加は見込めず私立の参入は困難と考えられるため、今後も公立により保育園運営を行っていく必要があります。しかし、2園とも施設の老朽化が著しく改築が必要な状況ですが、施設整備に係る国からの財政措置はなく、市の財政状況からも2園の改築は大変厳しい状況です。そこで、美東地区の保育園のあり方について、保護者や地域関係者と意見交換を行い、地域のニーズにあった保育環境の整備に取り組むこととしますが、方向性としては、大田保育園については美東地区全域の受入に対応できるよう施設規模の見直しを行った上で、園舎建て替えを実施し、真長田保育園については、地域のニーズに合わせた保育形態を検討していきたいと考えます。

なお、厚保保育園・秋吉保育園・秋芳桂花保育園・豊田前保育園は現状のまま運営を行いますが、いずれの園についても現状に応じた定員の見直しを行い、子育て世代の保育ニーズに合った保育サービスの充実・拡大について検討していきます。

また、私立施設が充実するエリアに関しては私立により、私立の参入が困難と考えられるエリアについては公立により、その役割を明確にし、連携をとるなど関係機関が一体となって子育て環境を整備することを基本としますが、今後、状況の変化にあわせて民営化についても検討していく必要があります。

(表4) 各公立保育園再編計画(案)

施設名	R4	R5	R6	R7	R8	R9	定員見直	
伊佐保育園	存続	段階的に受入停止					閉園	—
厚保保育園	存続	→						60→25
大田保育園	存続	新園舎建設(時期は未定)						60→70
真長田保育園	存続	保護者・有識者・地域の方 と協議		方針決定			未定	
秋吉保育園	存続	→						90→40
秋芳桂花保育園	存続	→						45→40
豊田前保育園 (指定管理)	存続	→						35

(表5) 再編後の保育サービス(公立保育園)(案)

区分	施設名	定員	年齢	開所時間	延長保育	一時預かり	休日保育	
公立	伊佐保育園	閉園						私立保育園 等も含めて 実施を検討
	厚保保育園	25名	0歳(6ヶ月～)	7:30～18:30	○	○		
	大田保育園	70名	0歳(6ヶ月～)	7:00～19:00	○	○		
	秋吉保育園	40名	0歳(6ヶ月～)	7:30～19:00	○	○		
	秋芳桂花保育園	40名	0歳(6ヶ月～)	7:30～19:00	○	○		
	真長田保育園	未定(ニーズにあった保育形態を検討)						
	豊田前保育園(へき地)	35名	満1歳	7:00～18:00	—	—		

Ⅵ 保育園のあり方について

人口減少は今後も続くと思われ、保育園入所児童数も減少傾向にあるものの、共働き家庭の増加、働き方の多様化などにより、保育ニーズは高まっていくと考えられ、今後も市内における適切な保育サービスを確保しておく必要があります。

現在ある資源を有効に活用し、地域の実情にあわせた保育サービスを提供していくためにも、私立と公立が連携を図り、それぞれの役割と機能を発揮しながら市全体の保育・子育て支援体制の充実に向けていくことが重要です。

Ⅶ 今後のスケジュール

公立保育園の再編については、本基本方針をもとにして関係機関と意見交換を行い、合意形成を図っていきます。

全体の再編整備の完成は、令和8年度～令和9年度頃を目標として、今後取り組みを進めていきます。

參考資料

未就学児数

R3.10.31現在(単位:人)

美称	H27(5歳)		H28(4歳)		H29(3歳)		H30(2歳)		R1(1歳)		R2(0歳)		R3(0歳)		合計						
	伊佐	於福	厚保	大嶺	豊田前	岩永・秋吉	別府・嘉万	大田・綾木・綾堂・赤	真名・長田	計	伊佐	於福	厚保	大嶺	豊田前	岩永・秋吉	別府・嘉万	大田・綾木・綾堂・赤	真名・長田	計	
伊佐	14																				94
於福	4																				17
厚保	2	72																			29
大嶺	45																				242
豊田前	7																				44
岩永・秋吉	7	14																			43
別府・嘉万	7																				35
大田・綾木・綾堂・赤	12	18																			68
真名・長田	6																				28
計	104																				600
入園児数(R3.11.1現在)	104																				465
入所率(%)	100																				77.5

地域別入園状況

R311.1現在(単位:人)

園名	地区名	伊佐	於福	厚保	大嶺	豊田前	岩永・秋吉	別府・嘉万	大田・綾木・綾堂・赤	真名・長田	市外	計
伊佐保育園		15			2			1				18
厚保保育園				12							4	16
大田保育園									33	4	4	41
真長田保育園									2	18		20
秋吉保育園					2		25				1	28
秋芳桂花保育園								27				27
豊田前保育園						10						10
吉則保育園		14	1		62	4	1				11	93
南大嶺保育園		4		3	28		2				5	42
麦川保育園			1		16	1	1				3	22
光輪保育園			4		6							10
美祢幼稚園		7	7	1	52	3					4	74
伊佐中央幼稚園		43	3	6	20	6	5	1	12		2	98
計		83	16	22	188	24	32	31	47	22	34	499
入所率(%)		88.3	94.1	75.9	77.7	54.5	74.4	88.6	69.1	78.6	-	-

地域別・年齢別入園状況

(単位:人)

園名	年齢	大嶺	伊佐	厚保	於福	豊田前	大田・綾木 絵堂・赤	真名 長田	岩永 秋吉	別府 嘉万	計
伊佐保育園	0歳児										0
	1歳児	1	2								3
	2歳児		2								2
	3歳児		6								6
	4歳児		4								4
	5歳児	1	1							1	3
計	2	15	0	0	0	0	0	0	0	1	18
厚保保育園	0歳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	1歳児										0
	2歳児			3							3
	3歳児			3							3
	4歳児			5							5
	5歳児			1							1
計	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12
大田保育園	0歳児						2	1			3
	1歳児						5	1			6
	2歳児						2	1			3
	3歳児						11	1			12
	4歳児						8				8
	5歳児						5				5
計	0	0	0	0	0	33	4	0	0	0	37
真長田保育園	0歳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	1歳児							2			2
	2歳児						1	5			6
	3歳児							3			3
	4歳児							4			4
	5歳児						1	4			5
計	0	0	0	0	0	2	18	0	0	0	20
秋吉保育園	0歳児	1							3		4
	1歳児								2		2
	2歳児	1							4		5
	3歳児								2		2
	4歳児								8		8
	5歳児								6		6
計	2	0	0	0	0	0	0	0	25		27
秋芳桂花保育園	0歳児									1	1
	1歳児									1	1
	2歳児									4	4
	3歳児									10	10
	4歳児									6	6
	5歳児									5	5
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	27
吉則保育園	0歳児	5	1								7
	1歳児	13	1								14
	2歳児	6	3		1						10
	3歳児	12	5			1					18
	4歳児	11	1			1					13
	5歳児	15	3			2					20
計	62	14	0	1	4	0	0	1	0	0	82
南大嶺保育園	0歳児	2								1	3
	1歳児	2	1	1							4
	2歳児	3	1							1	5
	3歳児	11									11
	4歳児	2	1	2							5
	5歳児	8	1								9
計	28	4	3	0	0	0	0	0	0	2	37
麦川保育園	0歳児								1		1
	1歳児	2									2
	2歳児	5									5
	3歳児	2									2
	4歳児	6			1	1					8
	5歳児	1									1
計	16	0	0	1	1	0	0	1	0	0	19
光輪保育園	0歳児										0
	1歳児	1									1
	2歳児	3			2						5
	3歳児										0
	4歳児	1									1
	5歳児	1			2						3
計	6	0	0	4	0	0	0	0	0	0	10
美祢幼稚園	0歳児	4	1								5
	1歳児	7			1						8
	2歳児	5	1		1						7
	3歳児	13	1	1	2	2					19
	4歳児	7	3		3	1					14
	5歳児	16	1								17
計	52	7	1	7	3	0	0	0	0	0	70
伊佐中央幼稚園	0歳児	1	1							1	3
	1歳児	4	8	1		1	1				15
	2歳児	1	5	2			1		1		10
	3歳児	2	14		1	3	1		1		22
	4歳児	8	5	2		1	3		2		21
	5歳児	4	10	1	2	1	6		1		25
計	20	43	6	3	6	12	0	5	1	1	96

